

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ若松河田教室			
○保護者評価実施期間	利用者なし（評価対象外） ～			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	2026年3月4日 ～ 2026/3/14			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の資質向上・研修体制の整備	事業所内研修・外部研修への参加機会が確保されており、研修内容を職員間で共有しながら支援の質向上につなげている（従業者評価Q10：全員はい）。	研修内容の現場への落とし込みと定期的な振り返りを継続する。
2	虐待防止・権利擁護に向けた研修・組織体制の整備	虐待防止のための職員研修機会が確保されており（Q49：全員はい）、不適切支援を未然に防ぐ組織的な基盤が整っている。	研修内容を踏まえた不適切支援防止チェックリストを整備し、事例共有の場を設ける。
3	職員間の記録・情報共有体制の確立	日々の支援記録の徹底（Q22：全員はい）、支援前後の打ち合わせ（Q20）・振り返り（Q21）が定着しており、職員間で気づきを共有する仕組みが機能している。	記録の質をさらに高め、支援改善のサイクルにつなげる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	構造化環境・視覚支援の整備が不十分	生活空間の構造化（Q3：2名いいえ）について「視覚補助が少ない」「ルールやお約束の見える化が必要」との意見あり。子どもが見通しを持って過ごせる環境整備が課題。	視覚的支援ツール（スケジュールボード・手順表等）を整備し、構造化環境をより充実させる。
2	業務改善PDCAへの全職員参画が不十分	PDCAサイクルへの参画（Q6：2名いいえ）について「日々の目標設定や振り返りの共有がない」との意見あり。職員全体での業務改善の意識が共有できていない。	日々の目標設定・振り返りの共有ルーティンを整備し、職員全員が業務改善に参画できる体制をつくる。
3	BCP策定・避難訓練の体制整備が途上	BCP策定・非常災害対応訓練（Q43：4名いいえ）について「BCP整備を進めている段階であり、今後は非常災害の発生を想定した訓練を計画的に実施していく予定」との意見あり。策定・実施に向けた継続的な取組が求められる。	BCP策定を早期に完了させ、計画に基づく避難訓練を実施する。あわせて各種マニュアルを整備し、職員全体への周知を図る。